

看護闘争ニュース

発行
東京医療労働組合連合会
看護闘争委員会
メール mail@tokyo-iroren.net
TEL／03-3872-7191
FAX／03-3876-3173



5月11日 東京医療労連協

ナースウエーブ

看護の日行動

署名宣伝行動は、雨の中お疲れ様でした。

署名 588 筆・募金 12,933 円・参加者 287 名でした。(よく頑張った！！)

その後、記念講演は笑いあり・学びあり・共感・感動あり、最高でした。皆さんのが声を載せてみました。

署名・宣伝行動

- 署名運動は、雨じゃなかったらよかった。新宿に3か所くらい分散してもよかったかも。
- 普段経験することのできない署名活動に参加することができてよかった。
- 「入院したら分かる。看護師さんたいへんだよねー」と声をいただき、理解してもらえると感じうれしかった。



- 初めての参加で戸惑いもありましたがおおぐの
- 一般の方に私たちの活動を理解してもらうことは、簡単なことではないと実感しました。
- 署名をしていただく事は大変だなと思いました。だからこそひとつひとつ積み重ねて発信していくことが大切だと思いました。



記念講演

- ◆16時間夜勤が体に負担・危険な事がデーターとギャグを織り交ぜながらわかりやすい講演だった。
- ◆これから夜勤につくようになるので、現場の実際のつらさを実感しようと思う。
- ◆宮子さんの話は、共感する場面もあり、とっても励みになると思った。
- ◆長く働いたからこそたくさんのこと自分で考え学べることを知った。これから働いていく中、自分もたくさん学びたいと思った。

- ◆16時間長い勤務で、ぎりぎりの限界で働いている。正循環8時間夜勤を経験したことがないので、体験してみたいと思った。
- ◆天使のような看護師にはなれないけど、患者の苦痛を理解できる看護師になりたいと思った。
- ◆看護における一つ一つの場面を大切な思い出にして振り返る事が大切だと感じた。

いよいよ5月25日は国会へ署名を提出いたします。

頑張ったみんなの気持ち・署名をしてくれた皆さんの願いを国会の議員の皆さんに届けます。